大館の歴史散歩

地域の事跡と人 ⑧

湿地を美田に変えた 虻川 七郎兵衛

真中地区は大館でも有数の穀倉地帯であるが、これは多くの先人たちの努力によるものである。今回は、江戸時代末期に櫃崎地区のために尽くした人物、虻川七郎兵衛を紹介する。

七郎兵衛は、文政四年（一八二一）二月三日、川口村（現大館市川口）の虻川七郎衛門の三男として生まれ、後に真中村櫃崎（現大館市櫃崎）で代々肝煎を務めていた虻川家の養子となった。小柄で気性が激しく、物事に屈しない気質で、人情深かったと伝えられている。

若くして肝煎となり、よく働き検約に努め、自分のことよりも地域住民のことを第一に考え実行し、大変人望が厚かった。

郷村史略によると、安政四年（一八五七）ころの櫃崎村は、家七十五戸、人口三百七十六人、馬の数百八十頭、米の生産高四百九十石であった。

当時、米代川は毎年のように氾濫し、地域に多大な被害を与えていた。この米代川改修のため、久保田藩は関係地域に「川普請」の費用を割り当て、これを徴収していた。多額の負担金は例外なく住民を苦しめた。

こうした住民の窮状を見兼ねて、救済のために七郎兵衛が考えたのが開墾事業であった。一般的な山野を切り開く方法ではなく、米代川の氾濫によって堆積した、ヨシやスゲの生い茂る湿地帯の肥沃な土を利用した新田開発であった。こうして開田した田畠からの収益を普請費に充て、住民を救済した。このほかにも、教育、産業、土木事業に力を注ぎ、公共のために尽力した。

明治二十三年十一月三十日、七郎兵衛はその生涯を終えた。享年七十歳であった。彼の功績を讃える顕彰碑は、大正五年十一月、赤石の源守院境内に建立され、また同時期に、北秋田郡長からは銀杯が贈られ追彰されている。

彼にかかわる詳細な記録は、度重なる大火により消失し残ってはいないが、大自然の恐ろしさを逆手にとり、荒れた湿地を美田に変えた農民の魂は、櫃崎の地に広がる水田に受け継がれているように思える。

市役所史跡探訪会

▶源守院境内にある顕彰碑

私の本棚

中央図書館新着図書

『七大陸最高峰に立って』

田部井 淳子著 小学館

エベレスト、マッキンリー、アコンカグア……七大陸最高峰登頂を果たした女性登山家田部井淳子。大自然の中に身をゆだねる感動を伝えてくれる登山手記。

一般書 ◇舞台（萩原葉子）◇紳士の条件（諸井薫）◇愛のまわりに（瀬戸内寂聴）◇中国人の恋人（柴田翔）◇平成トム・ソーヤー（原田宗典）◇古代幻視（梅原猛）◇毛利衛、ふわっと宇宙へ（毛利衛）◇司政官（眉村卓）◇生体物質とエネルギー（丸山工作）◇スティーヴン・ホーキング（ホワイト）ほか

児童書 ◇め――どうしてみえるの？（佐藤まもる）◇環境地図帳（ほるぷ出版）◇ダンボールで鯨を作る（内藤英治）ほか

12月のテーマ関連図書コーナー

『レクイエム'92』

親子読み聞かせ会

毎月第１金曜日　午後２時30分から

中央図書館の休館日・12月20日、23日、24日、12月28日～１月４日、１月15日、17日

クイズ広報 おおだてがヒント

▽問題

①地方拠点都市整備法に基づく地域指定、県内ではいくつの地域が要望している？

②長根山運動公園陸上競技場は、現在第何種の競技場？

③ごみ収集は年末年始を休みます。いつからいつまで？

④通商産業省が毎年十二月三十一日現在で行う統計調査は何？

▽応募方法

ハガキに住所、氏名、年齢、性別、答え（例①――②――）を書いてご応募ください。

▽締め切り

12月28日（月）当日消印有効

▽応募先

〒017 大館市字中城20番地

広報おおだてクイズ係

※全問正解者の中から、抽選で5人にオリジナルテレホンカード（秋田犬）を贈ります

▽11月16日号の答え

①17件 ②総合経済対策 ③12人 ④400円 ⑤12月10日

▽11月16日号の当選者

・中村百合子さん（芦田子）
・福田晃さん（大町）
・湯瀬文雄さん（たつみ町）
・石川道男さん（餅田２丁目）
・佐々木タケさん（字八幡沢岱）

※応募総数44、全問正解者39人

※広報おおだては再生紙（古紙50%）を使用しています。